Panasonic

施工説明書
取扱説明書
保管用

Wエコ 環境配慮型黒板灯

品番　ＦＳＡ６１５１８

（一般屋内用）　・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

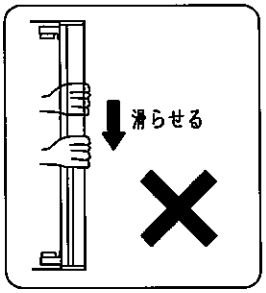
安全に関するご注意

⚠警告

●施工は、施工説明にしたがい確実に行なう。　施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
●器具を改造しない。　感電・火災の原因となります。
●必ず表示された定格電圧（１００－２４２Ｖ）で使用する。　感電・火災の原因となります。
●吊具の施工は、吊具の取扱説明書の取付方法にしたがい確実に行なう。　不備があると器具落下の原因となります。

⚠注意

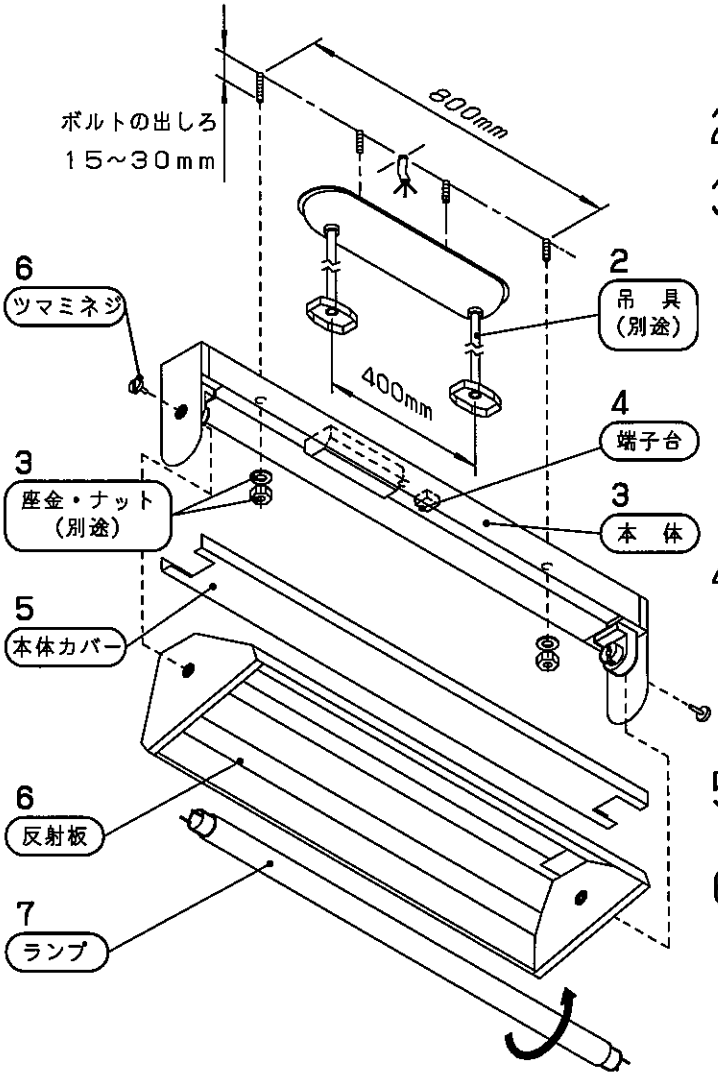
●直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。　落下・感電・火災の原因となります。
●周囲温度は、５～３５℃以内で使用してください。　ちらつきや短寿命の原因となります。
●１．８ｍ以下や器具が体に当たる恐れのある低い場所には、取り付けないでください。
●本体を手で握った状態で、滑らせないで下さい。　手を負傷する原因となります。



各部のなまえと取付方法

⚠警告

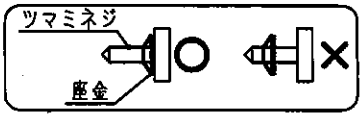
施工は、取扱説明書にしたがい確実に行なう。
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。



1 取付前の確認

・器具質量（2．8kg）と吊り具質量に
十分に耐えるよう、取付ボルト又は、
木ネジ取付部（ネジ掛かり代）の強度を確保する。
（取付ボルトは、W3／8又はM10を使用する。）
（木ネジは、丸木ネジの呼び4．1以上を使用する。）
不備があると器具落下の原因となります。

・ツマミネジに固定している
座金の位置を確認する。



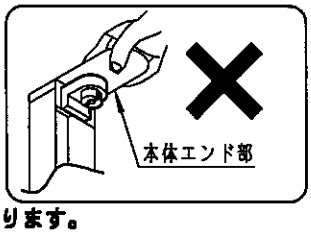
2 吊具（別途）の取付 ※吊具取付の場合

・詳細は、吊具の取扱説明書をご参照ください。

3 本体の取付

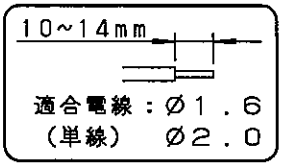
《吊具取付の場合》
・吊具に同梱の根角ボルト、ナットで確実に取り付ける。
・詳細は、吊具の取扱説明書をご参照ください。

《天井直付の場合》
・電源線、アース線を本体の
電源穴から引き込んでおく。
・本体を取付ボルト又は、
木ネジで確実に取り付ける。
**注）本体取扱時、エンド部を
持たないで下さい。
本体エンド変形の原因となります。**



4 電源線・アース線の接続

・電源線、アース線を確実に差し込む。
・D種（第3種）接地工事が必要。
・端子台の容量は、20Aです。
**接続が不完全な場合や
場合や容量オーバーの場合、
火災の原因となります。**

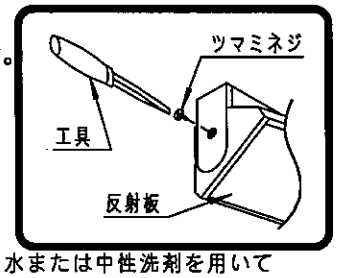


5 本体カバーの取付

・本体のリブに本体カバーを確実にはめ込む。
取付が不完全な場合、本体カバー落下の原因となります。

6 反射板の取付

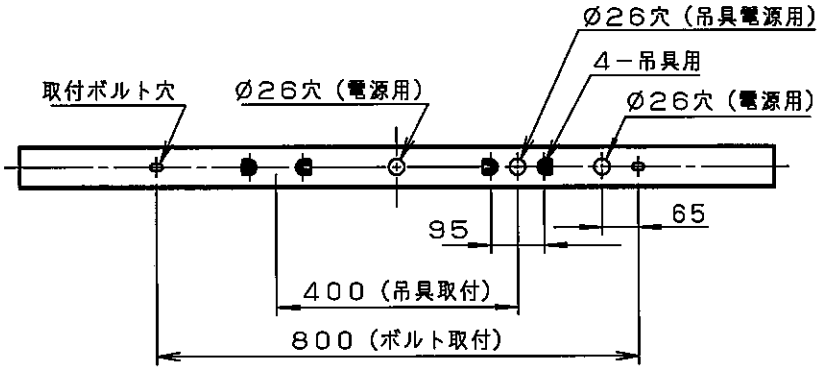
・反射板表面の保護シートを剥がす。
・きれいな手袋を使用。
・反射板を本体にセットした後、
工具でツマミネジを確実に
締付ける。
（推奨トルク値：0．3N・m
（3kgf・cm））
注）万一、汚れが付着した際は、水または中性洗剤を用いて
軽く拭き取ってください。
締付けが不完全な場合、反射板落下の原因となります。



7 ランプを確実に取り付ける

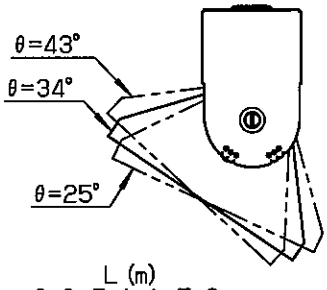
・ランプをソケットにセットしてから、90° 回転させる。

器具背面図

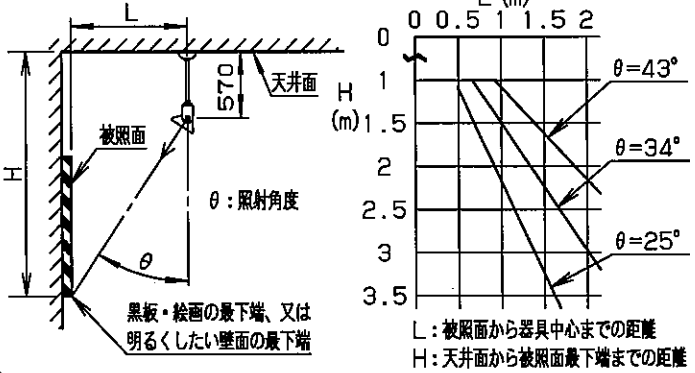


器具取付位置

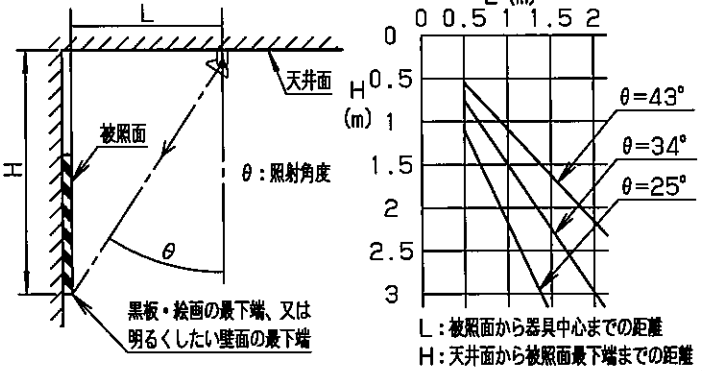
・照射角度θは25°・34°・43°の3段階に調節できます。
・照射角度は、下図を参考に、反射板を回転させて照射したい角度に調節して下さい。
反射板角度を調節する際は、反射板内面（鏡面部）に手が触れないようご注意下さい。



<吊具取付の場合>



<天井直付の場合>



取扱説明　お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

●器具を改造しない。　感電・火災の原因となります。
●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると、感電・火災の原因となります。
すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切る。　感電の原因となります。
●ランプに物をぶつけないでください。　ランプの破損・落下の原因となります。

⚠注意

●シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
●照明器具には寿命があります．設置して１０年※経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯です。
●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
●１年に１回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
必要な場合は弊社営業所へお申し出ください。（チェックシート番号：ＣＬＸ２０２１ＢＡ）
点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。
●万一のランプ破損によるガラス片の飛散を防止する場合、飛散防止膜付ランプをおすすめします。
尚、器具光束が約７％程度減少します。

取説No. FSA61518-T4

使用上のご注意

- この器具は自動初期照度補正機能付照明器具です。定格出力の約７３％の光束を保つように設計されています。
- 電源投入から数秒後に調光状態（初期照度補正状態）となります。
  始動時の数秒間は明るさが異なりますが異常ではありません。
- ランプ交換は同一電源回路の器具全てまたは器具単位での交換をおすすめします。
  ２灯用器具の場合、１本のみの交換では適正な明るさが得られません。
- ランプや安定器のバラツキ、経年変化等により輝度差、色ムラが若干目立つことがありますが異常ではありません。
- ランプや器具の汚れについては補正しませんので、定期的な清掃をおすすめします。

累積点灯時間のリセットについて

この器具は累積点灯時間を記憶しながら、点灯時間に応じた光束減退特性に基づいて、照度補正を行っています。
従って、新しいランプに交換される際、累積点灯時間をリセットする（累積点灯時間の記憶値をゼロにする）必要があります。

ランプ寿命となった場合（自動リセットについて）

この器具には、ランプ寿命を判断する機能が付いていますので、新しいランプへの交換と同時に自動的に累積点灯時間をリセットします。後術の手動リセットは不要です。

ランプ破損時、寿命以外で交換する場合（手動リセットについて）

＜器具１台のみリセットする場合＞
1）電源ＯＦＦ、古いランプを取外し
2）ランプ取外し状態で、次の動作を３回繰り返し
電源ＯＮ（１秒間）⇒ＯＦＦ（１秒間）
3）新しいランプを取付け、電源ＯＮ

＜同一電源回路の器具と一斉にリセットする場合＞
1）電源ＯＦＦ、全ての器具を新しいランプへ交換
2）ランプ装着状態で、次の動作を６回繰り返し
電源ＯＮ（１秒間）⇒ＯＦＦ（１秒間）
3）電源ＯＮ

手動によるリセット操作が正しく行われていれば、ランプ取り付け後の電源ＯＮ１０秒後に調光開始します。

- 停電等による電源遮断時も累積点灯時間は保持されますので、自動初期照度補正機能は電源再投入後も正しく動作します。
- 周囲温度が約５℃～約１０℃で使用される場合、
  始動時に移動縞が発生することがございますが、数秒～数十秒で解消いたします。
- 調光機器などとの組合せはできません。
- ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
  雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- 同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- 照明器具２台以下で、ほたるスイッチと組合わせて使用する場合、
  手動リセットが動作しない場合がありますので、スイッチは２箇所までとしてください。

保証について

- 保証について――この商品の保証期間は１年間です。但し、安定器は３年間です。
  ランプ等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について――保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間――弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、６年間保有しています。
  補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換

- 器具の清掃について――水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
  シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
  変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- ランプ交換について――本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。
  （パナソニック製蛍光ランプをご使用ください。）

交換部品	Ｇ－Ｈｆ蛍光ランプ	FHF63

⚠注意

●感電のおそれあり
ランプ交換時は、必ず電源を切ってください
●やけどのおそれあり
点灯中や消灯直後はランプやその周辺をさわらないこと

パナソニック株式会社　ライティング機器ビジネスユニット　〒571－8686　大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　パナソニックお客様ご相談センター　0120－878－365（フリーダイヤル）　0120－878－236（FAX）

N1209-041113